

2022年経済構造実態調査（製造業事業所調査）結果の概要（広島県）

1 概況

2022年経済構造実態調査（製造業事業所調査）によると、

広島県の製造品出荷額等は、9兆9439億円で全国10位（前年11位）

広島県の付加価値額は、3兆1019億円で全国11位（前年13位）

○広島県の産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で3兆531億円（構成比32.9%）

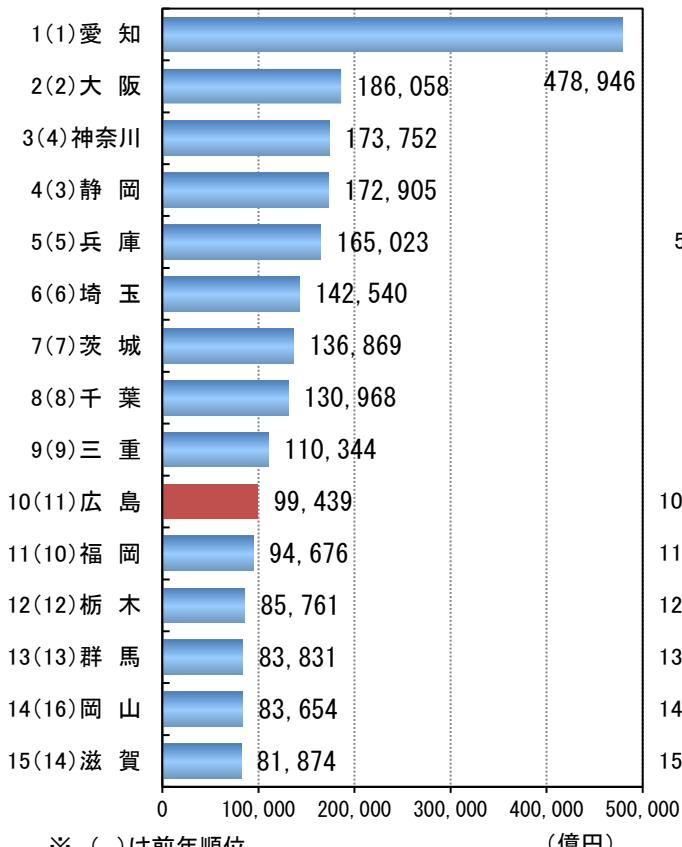
○広島県の産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で7905億円（構成比24.4%）

表1 主要項目の状況(全事業所)

項目	広島県				全国		
	実数	前年からの増減数	前年比(%)	全国シェア(%) (前年)	全国順位 (前年)	実数	前年比(%)
事業所数(所)	5,893	1,081	22.5	2.6 (2.7)	13 (14)	222,770	26.0
従業者数(人)	212,956	5,200	2.5	2.8 (2.8)	11 (11)	7,714,495	3.3
製造品出荷額等(億円)	99,439	10,741	12.1	3.0 (2.9)	10 (11)	3,303,093	9.4
付加価値額(億円)	31,019	4,710	17.9	2.9 (2.7)	11 (13)	1,066,375	10.1

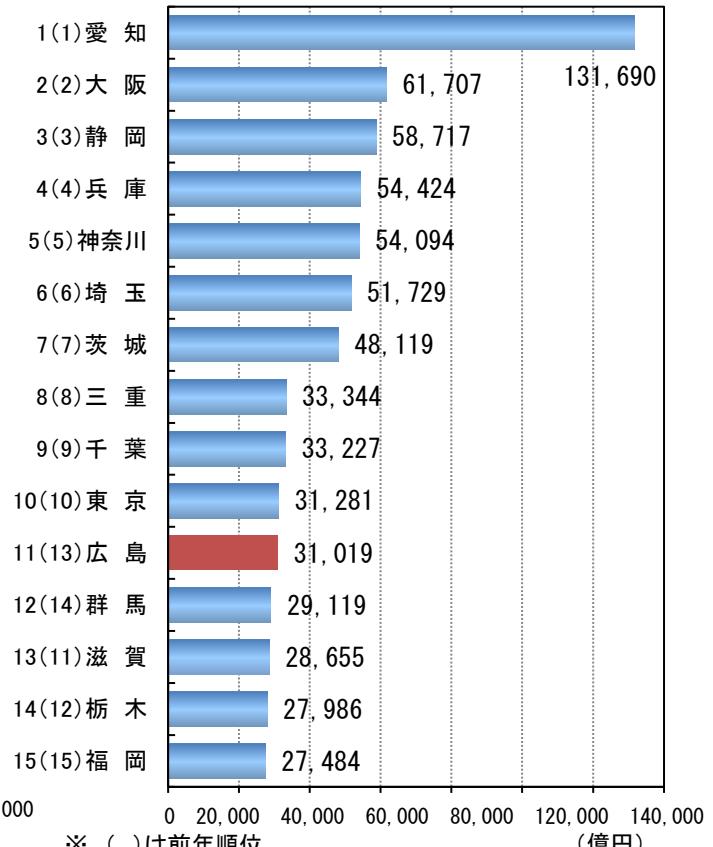
※前年の比較は経済センサスのデータによる。

図1 製造品出荷額等：上位15都道府県



※ ()は前年順位

図2 付加価値額：上位15都道府県



※ ()は前年順位

[資料] 経済産業省『2022年経済構造実態調査「地域別統計表」』

(令和5年7月25日公表・令和7年8月29日一部訂正)により作成

2 産業別の状況

(1) 事業所数 ~上位3業種は金属製品、生産用機器、輸送用機器~

事業所数は、5,893事業所となり、全国13位。

産業中分類別で事業所数が最も多いのは、金属製品（831事業所、構成比14.1%）で、次いで生産用機器（714事業所、構成比12.1%）、輸送用機器（642事業所、構成比10.9%）の順となった。

上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約4割（37.1%）を占めている（図3）。

(2) 従業者数 ~上位3業種は輸送用機器、食料、生産用機器~

従業者数は、21万2956人となり、全国11位。

産業中分類別で従業者数が最も多いのは、輸送用機器で4万9453人（構成比23.7%）、次いで食料2万7106人（構成比12.2%）、生産用機器2万1954人（構成比11.0%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約5割（46.3%）を占めている。（図3）

(3) 製造品出荷額等 ~上位3業種は輸送用機器、鉄鋼、生産用機器~

製造品出荷額等は、9兆9439億円となり、全国10位。

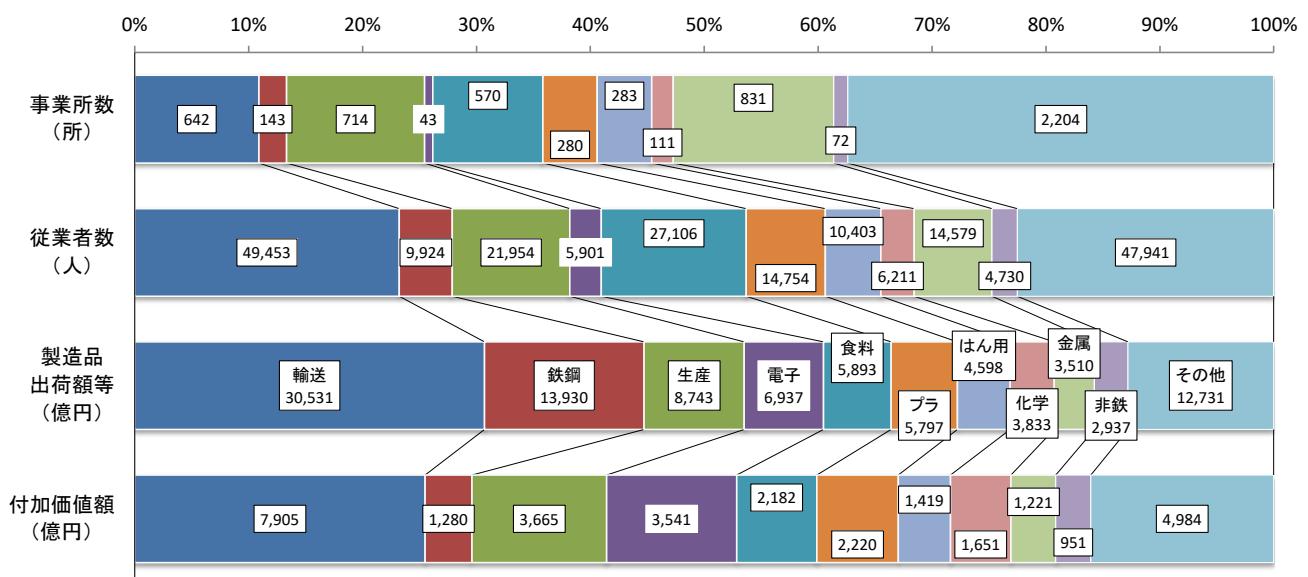
産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で3兆531億円（構成比32.9%）、次いで鉄鋼1兆3930億円（構成比11.2%）、生産用機器8743億円（構成比9.7%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の5割以上（53.5%）を占めている。（図3）

(4) 付加価値額 ~上位3業種は輸送用機器、生産用機器、電子~

付加価値額は、3兆1019億円となり、全国11位。

産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で7905億円（構成比24.4%）、次いで生産用機器3665億円（構成比13.4%）、電子3541億円（構成比8.4%）の順となった。上位3業種は、電子デバイス部品が前年の4位から3位へ順位を上げたほかは前年と同じ順位で、全体の約5割（46.2%）を占めている。（図3）

図3 広島県の主要産業の構成（製造品出荷額等上位10業種・全事業所）



〔資料〕経済産業省『2022年経済構造実態調査「地域別統計表」』
(令和5年7月25日公表・令和7年8月29日一部訂正)により作成